



くすりのことを知ろう

宮本病院薬剤部

精神科の治療は、おくすりの関わりが大きいです。

正しく理解することで安心して治療に臨めます。

まず初めに知っていただきたいこと・・・

”おくすり“を有効かつ安全に使用していただくために

“おくすり“を正しく飲むため

に

“おくすり”を有効かつ安全に使用していただくために～その1～

お薬は指示された時間、量、回数を守り、正しく服用しましょう。

医師は、患者様が薬をきちんと服用している前提で次の治療方針を決めます。

調子が良くなったと思っても、自己判断で薬の量を減らしたり中止したりしないでください。また薬が効いてこないなどの理由で自己判断で服用量、服用回数を増やさないでください。薬が飲みづらいつと感じた場合、その他わからないことがあれば、医師、薬剤師に相談してください。

病院では、一人ひとりに合ったお薬が処方されます。

そのためには患者様からの情報が必要になります。

- ・お薬、食品（卵、牛乳、ゼラチンなど）のアレルギー経験
- ・現在、服用しているお薬やサプリメント、健康食品
- ・緑内障、喘息、不整脈等の既往
- ・妊娠中または妊娠の可能性 等

〈注意〉症状が似ていても、ご家族や友人等にお薬を渡したり、もらったりして飲まないでください。

2020.11.27